

# 令和7年度 農業研修生募集案内

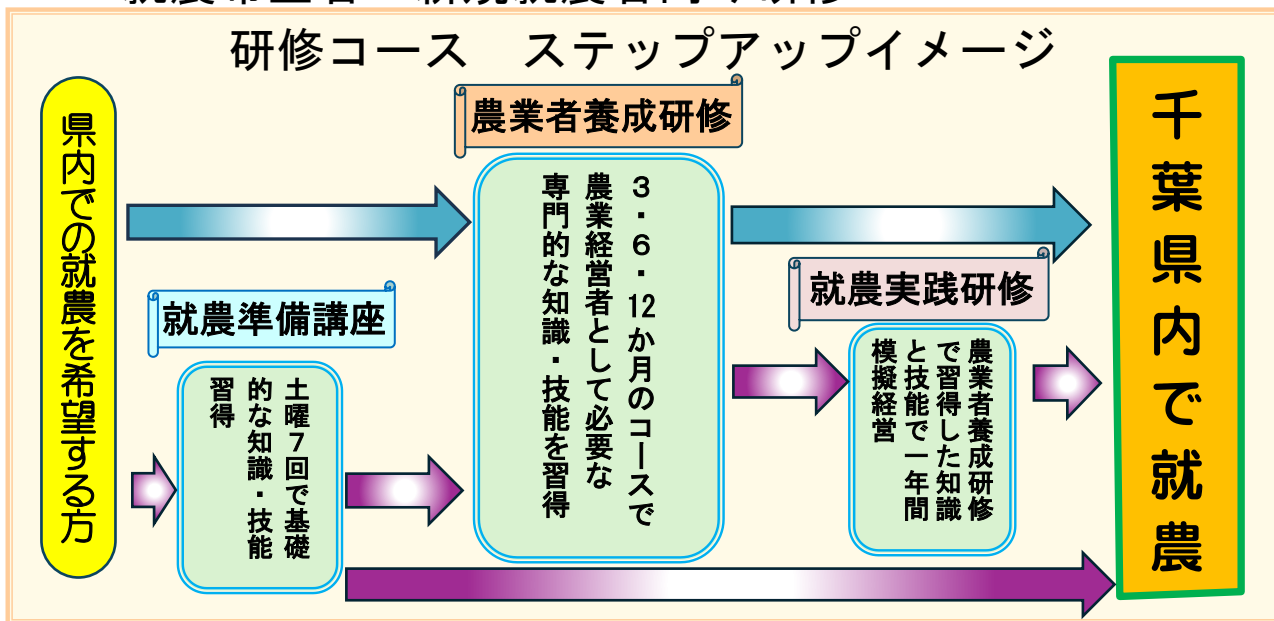


## 就農を目指すかた向け農業研修 —東金市・油井農場—

- |                             |                                 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1 農業者養成研修<br>平日3・6・12か月長期研修 | 2 就農準備講座<br>土曜日7回入門研修           |
| 3 就農実践研修<br>12か月間農業経営実践     | 4 その他研修<br>(有機農業関連・樹勢診断と回復技術講座) |

千葉県立農業大学校

# I 就農希望者・新規就農者向け研修



## 就農までのみちすじと支援

### ○就農までの3つのステップ

ステップ1 **検討** HP等から各種情報収集、相談会への参加  
市町村や県の窓口機関への相談

ステップ2 **準備** 教育機関や先進農家等で知識・技術を学ぶ  
農地の確保や就農計画の作成

ステップ3 **就農** 営農計画の実現や経営発展を目指す

### ○知識・技術を学ぶ

各研修の座学・実習に加え、新規就農支援として農業会議や市町村、JA、農業者支援センター他関係機関と連携し就農に向けたガイダンスや支援を行います。

## 実習風景 1



ビニールハウス内のベッド作成



さつまいもの植え付け作業



## 1 農業者養成研修 —就農のために学ぶ—

県内で職業として農業を始めようとする方や、県内で既に農業を開始している方が対象。研修期間が3か月の基礎研修、6か月の専門研修、12か月の部門別研修の3コースがあります。新規就農には、春・秋の作付けが経験できる12か月の研修をお勧めします。

### 【研修日、時間等】

○研修開催日：月曜日～金曜日（国民の祝日及び12月29日～1月3日を除く※）

※農場当番（日直）は土・日・祝日・12月29日～1月3日もあります

○研修時間：午前9時～午後4時10分（農場当番の日を除く）

### 【主な内容】

#### （1）座学（前期・後期ともに最初の3か月間は各コース合同で受講）

講義科目：野菜、花き、作物、果樹、土壌肥料、病害虫、農業経営、獣害対策ほか  
校外学習として新規就農事例又は先進技術等を視察し、農業の現状を把握

#### （2）農場実習

県内で栽培される主な野菜・花きの栽培管理を実習（穀類や果樹・畜産はありません）  
実習の一環として農場当番があり、早朝と夕方のハウス開閉とかん水作業等を月に数回（週末・祝日も担当）、農場内の直売所で近隣住民への対面販売を経験

#### （3）プロジェクト実習

各自が作成した栽培計画に基づき栽培を実践、実習内容や農家実習の状況・結果を中間と期末に報告

#### （4）農家実習（専門研修・部門別研修のみ、研修4か月目から）

県内の先進農家で週2日、農作業等の実習（先進農家へは各自の交通用具で通います）

#### （5）トラクター基本研修・その他資格試験

農耕車限定大型特殊自動車運転免許取得を目指す（千葉運転免許センターで実技試験）  
日本農業技術検定、小型車両系建設機械特別教育、フォークリフト運転技能講習等

区分	研修期間	募集人員	応募受付期間
前期	基礎 令和7年 4月9日(水) ～6月30日(月)	5名	令和7年 1月7日(火) ～1月31日(金) (消印有効)
	専門 4月9日(水) ～9月30日(火)	5名	
	部門別 4月9日(水) ～令和8年3月19日(木)※ ※就農準備資金受給者は3月末まで	15名	
後期	基礎 令和7年 9月3日(水) ～11月28日(金)	5名	令和7年 6月9日(月) ～6月27日(金) (消印有効)
	専門 9月3日(水)～ 令和8年2月27日(金)	10名	

☆受講者数（プロジェクトほ場の空き）によっては研修区分（基礎・専門・部門別）の途中変更可能。

☆農業者養成研修の部門別研修及び就農実践研修は、農林水産省の交付金制度「就農準備資金」の対象となる研修です（令和7年度以降、要件が変更となる場合があります）。

## 受講案内

- 応募資格： 県内で職業として農業を始めようとする方又は農業従事者  
※外国籍の方は「就労に制限が無い」在留資格であること
- 応募手続： 所定の受講願書、履歴書、身上調書、営農調書、健康診断書（出願前3か月以内のもの）を持参又は郵送  
※外国籍の方は「就労に制限が無い」ことが確認できる住民票やカード等の写しを併せて添付
- 選考方法： 書類審査の上面接を行い、受講者を決定  
面接終了後3週間を目安に結果を通知
- 受講料： 1か月3,300円（別途、教科書代、校外見学費用、実習資材費等に実費約3万円が必要）
- 応募用紙： 応募用紙は千葉県立農業大学校のホームページから（受講願書等）ダウンロードするか、農業大学校農業研修科へ請求

## 実習風景 2



すいかの糖度調査



トマトの定植作業



直売所での対面販売



プロジェクト実習・農家実習の報告会



## 2 就農準備講座 —仕事の合間に基礎を学ぶ—

- 将来、県内で職業として農業に取り組もうとしている方が対象  
基礎的な農業知識の習得と農作業を体験します。農作業初心者向けです。
- 毎週土曜日に連続7回実施、研修時間：午前10時から午後4時  
午前は講義：野菜、土壌肥料、水稻・畑作物、病虫害防除、農業経営、新規就農ガイド  
ンス等の講義があります。  
午後は実習：農業機械実習、葉菜類の播種、果菜類の管理作業、野菜の出荷調整、花き  
の鉢上げ等の実習や新規就農事例の視察をします。  
\*果樹の講義及び実習と水稻・畑作物の実習は実施していません。

区分	研修期間	研修回数	募集人員	応募受付期間
前期	令和7年 5月17日(土) ～6月28日(土)	毎週土曜日開催 研修回数7回	18名	令和7年 2月17日(月) ～3月14日(金) (消印有効)
後期	9月13日(土) ～10月25日(土)	毎週土曜日開催 研修回数7回	18名	6月30日(月) ～7月25日(金) (消印有効)

### 受講案内

- 応募資格：千葉県内で職業として農業に取り組もうとする方  
※外国籍の方は「就労に制限が無い」在留資格であること
- 応募手続き：所定の受講願書を持参又は郵送  
※外国籍の方は「就労に制限が無い」ことが確認できる  
住民票やカード等の写しを併せて添付
- 選考方法：書類審査を行い、受講者を決定  
受付期間終了後3週間を目安に結果を通知
- 受講料：無料（別途、傷害保険料等に実費約1,000円が必要）
- 応募用紙：応募用紙は農業大学校のホームページからダウンロード  
（受講願書等）か、農業大学校農業研修科へ請求

## 実習風景 3



農作業事故の実態と防止対策の講義



管理機の取り扱いについて

### 3 就農実践研修 —農業を実践してみる—

農業者養成研修を修了後さらに1年間、自分の力を試すための研修コース  
 これまで習得した知識や技術を用いて農作物の栽培・販売を行い、職員の助言のもとで  
 就農に必要な栽培技術や農業経営の経験を積むための研修です。

#### 【研修内容】

- 就農時目標作物の栽培と販売（直売等）を実践。農産物販売は、職員の助言を受けながら自身で販路開拓、販売します。
- 3か月ごとに、毎日の収支記録と作付け計画の進捗状況を提出。自身で分析し、研修成果として報告会で報告します。
- 農業大学校からは畑、ハウス、栽培器具、農業機械等を貸出しますが、種苗、肥料、農薬、その他消耗資材については自己資金で購入します。
- 研修時間は原則午前8時半から午後5時まで。休日は特に定めません。
- 農業者養成研修同様、農場当番（日直）があります。

研修期間	募集人員	応募受付期間
令和7年4月1日（火） ～令和8年3月31日（火）	5名	令和7年 1月15日（水） ～1月29日（水）（当日消印有効）

#### 受講案内

- 応募資格：農業者養成研修の専門研修及び部門別研修を修了した方  
 農業生産法人等に勤務又は農業者としての実務経験があり、農業者養成研修の専門研修修了者と同等かそれ以上の知識\*及び技術\*があると校長が認めた方  
 \*栽培、農業経営、マーケティング、税務など研修期間中の生産・販売・経理に必要な知識と技術。
- 応募手続・  
 選考方法・受講料：応募の際に研修期間中の栽培計画を提出する他  
 農業者養成研修と同様の手続き、選考、受講料

### 4 その他の研修

#### ○有機農業研修

千葉県環境農業推進課が主催し、連携して開催します（1～2回/年）。詳細は千葉県HPに掲載します。

#### ○樹勢診断と回復技術講座

県内産業としての植木栽培に関心のある方を対象に、樹勢診断と回復技術講座を開催します。

#### 受講案内

- 募集人員：先着順30名
- 研修案内：研修開催の1か月前に、市町村、JA等に通知、HPに掲載（例年10月初旬に開催）
- 受講料：無料（場合により、教材費等の実費がかかります）
- 申込方法：研修案内に明記してある所定の項目を記入し、ハガキ又はFAX、E-Mailで申込む

## 活躍する修了生

### 浦野 和洋（うらの かずひろ）

H26年度農業者養成研修（後期専門研修）

外食産業や講師業、団体職員等の様々な社会経験を経て、農業の担い手不足に関心を持ち、自ら農業に携わりたいと考えて県立農業大学の農業者養成研修を受講しました。

研修では、基礎的な知識・技術の他、県内で栽培される主な野菜と花の管理を学び、修了後は企業での勤務経験を生かした外国人も楽しめる観光農園を経営したいと考え、研修後半には観光いちご農家で農家実習をしました。

今では、研修先の農家に仲介していただいた農地で、26aの観光いちご園を経営しています。



山武市成東観光苺組合に加入している「なごみ苺苑」の浦野です。お客様に喜んでもらう為、毎日、美味しいいちご作りに励んでいます。

### 山下 大輝（やました だいき）

H29年度農業者養成研修（前期専門研修）

環境コンサル企業や太陽光パネルメーカー支店長等を経験後、農業を通じて持続可能な社会を作りたいと思い、農大の農業者養成研修に応募。油井農場では慣行栽培での野菜や花の管理を、農家実習では佐倉市の有機栽培農家で有機農業を学びました。

平成30年に千葉市で有機・減農薬栽培による経営を55aで開始。有機JAS認定を取得し、大手スーパーやドラッグストアとの契約販売等で事業を拡大。現在は畑約10haとハウス63棟で生産を行い、令和5年10月には農業者の環境負荷低減に資する取組として、みどりの食料システム法に基づく県内初の認定を受けています。



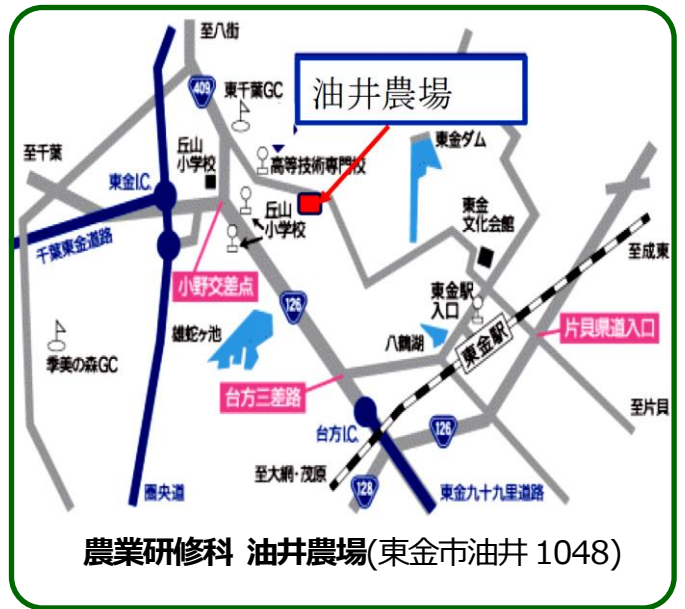
FarmMoWG(株式会社 MoWG)の山下です。今後も、農業を通じて環境問題・食糧自給率・過疎化など様々な問題に取り組んでいきます。

## 農業者養成研修・就農実践研修 修了後の進路

	研修生数 (年間)	自立就農	親元就農	雇用就農	継続研修	農業関連 企業就職	農外	就農者数	就農率
		①	②	③				①+②+③	①+②+③
R2年度	20	10	1	6	2	1	0	17	85%
R3年度	31	16	4	2	4	2	1	22	71%
R4年度	29	10	12	3	0	1	2	25	86%
R5年度	28	(16)	(6)	(0)	(4)	(0)	(2)	(22)	(79%)

※「就農準備講座（土曜日7日間）」については調査から除外しています  
 ※令和5年度の（ ）内は研修修了時のアンケートによる進路予定です





**本校（農業研修科）・油井農場**



**<交通 本校>**

- ①JR 東金駅下車、「東金駅入口」からちばフラワーバス「成東駅」行きに乗り、「家の子」下車、徒歩約 10 分
- ②JR 総武本線成東駅下車、ちばフラワーバス「千葉駅」行きに乗り、「家の子」下車、徒歩約 10 分
- ③JR 千葉駅下車、ちばフラワーバス特急フラワーライナー「成東」行きに乗り、「家の子」下車、徒歩約 10 分

**<交通 農業研修科油井農場>**

- ①平日は、JR 千葉駅発高速バス（レイクサイドライナー）にて「高等技術専門学校」下車、徒歩約 15 分
- ②休日は、ちばフラワーバスで「丘山小学校」下車、徒歩約 30 分



# 千葉県立農業大学校

本校（お問い合わせ・願書送付は農業研修科へ）

〒283-0001 千葉県東金市家之子 1059

TEL 0475-52-5121（庶務教務課）

0475-52-5122（農学科）

0475-52-8565（研究科）

◎0475-52-5140（農業研修科）

FAX 0475-54-0630（共通）

油井農場

〒283-0804 千葉県東金市油井 1048

TEL 0475-52-1022\*

※お問い合わせは農業研修科へお願いします

<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/noudai01@mz.pref.chiba.lg.jp>（受信専用）



農業研修科 HP へのリンク